

分野：自然への愛着

「令和3年荒川大自然ツアー」

環境アドバイザー

荒木三郎

対象 荒川太郎右衛門自然再生協議会（20人）

所要時間



3時間

場所 江川サクラソウトラスト他2ヶ所

実施時期

令和3年4月3日

概要

江川サクラソウトラスト地、荒川太郎右衛門自然再生地、三つ又沼ビオトープについて春の自然観察を国土交通省荒川河川事務所主催による、3ヶ所を巡る大自然ツアーで春を満喫する。

プログラムの

ねらい

- 荒川流域に点在する3ヶ所のビオトープを巡り、動植物の観察、それぞれ場所の自然観察やその場所に携わるボランティアの皆様との交流ができる。
- 保護活動と希少種保護の苦労話を共有できればと思います。
- 川島町、桶川市、上尾市にはこんな自然が残っていることをアピールしたい。

プログラムの内容

各場所をバス移動を含め60分とした

• 通称サクラソウトラスト地

上尾市、桶川市の境に位置する江川下流域に位置し、県生態系協会上尾支部 NPO エンハンスネイチャー荒川江川が希少種の保護管理をしている。

希少種はサクラソウ、ノウルシ、ノハナショウブなど30種以上

• 荒川太郎右衛門自然再生地

川島町、桶川市、上尾市、2市1町に位置する荒川旧河川の蛇行した川の自然の保護管理を行う。

希少種はカワチシャなど未公開種が多い。

• 三つ又沼ビオトープ

川島町、上尾市、川越市の一部で荒川と入間川の旧河川の合流地の沼、周辺を NPO 荒川の自然を守る会などが保護管理している。希少種は多い。



受講者の反応

国土交通省・荒川上流河川事務所がバスをチャーターし桶川駅まで送迎してくれた、荒川大自然ツアー、自然が豊富で大満足していました。サクラソウやノウルシの最盛期であり良かったです。

NPO 荒川の自然を守る会からはお土産に凶鑑のプレゼント（上尾とその周辺の植物）を頂く。来年も開催されるのでまたツアーに参加したい。3ヶ所のボランティアにもぜひ参加してみたいとの声もありました。都会から離れた自然なんですよね。。。。。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



荒川自然再生地・三つ又沼ビオトープ観察会



分野：自然への愛着

「親子自然塾三つ又・令和3第1回」

環境アドバイザー

荒木三郎

対象 荒川の自然を守る教職員の会 一般参加
(20人)

所要時間  9時～11時

場所 三つ又沼ビオトープ

実施時期 令和3年4月4日

概要

- ・親子自然塾でしたが親子での参加は少なく、人数の内訳は、大人が多く小学生以下はゼロ、中学生2名、高校生1名でした。解説は大人主体で行う。
- ・春の自然観察、植物、昆虫、両生類、爬虫類を主におこなう。
- ・池では何がいるかな？

プログラムの
ねらい

- ・コマギなどの木本植物の芽吹きや葉のにおいを五感で感じる
- ・希少植物のノウルシの花、ショウブの香りなどや外来種の観察
- ・両生類、ニホンアマガエル、又マガエルなどの観察
- ・爬虫類、草原でヒバカリ、ニホンカナヘビを探し観察

プログラムの内容

1 自然観察（90分）

駐車場の草原でカエル探し、アマガエルは日本固有種、又マガエルは移入種。園路を歩きながら幼体昆虫探し、ヤブキリ、ナナフシモドキ、カマキリなど。草原で冬眠明けのヘビ探し、幸運にもヒバカリを捕獲、身近に観察できました。植物はノウルシ、ゴマギの花や葉の香りを観察する。池の周囲では県のチョウミドリシジミの卵や池のドブガイを観察する。



2 質疑応答（30分）

ヒバカリについて盛り上がる。ヘビが嫌いな人が良く見つけることが多い。以前はこのヘビに噛まれると、その日ばかりで死んでしまう、名前の由来です。

受講者の反応

この時期に昆虫などはいないと思っていた人が多く、草のなかをよく探すと昆虫は見つかります。こんなに虫やヘビが身近に見られるならば、次回は子供や孫を連れてきたい。ショウブやゴマギの葉が、いい匂いがするとはビックリでした。



分野：自然への愛着

(春の自然観察と外来植物の体験)

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象

つばさ南小学校 3年(23人)

所要時間



2時間

場所

三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和3年4月21日

概要

- ・今年度の初めての校外学習です、春の自然観察を通じて自然の大切さが学べたらしいです。
- ・先輩たちが今活動してきた、荒川の草花を育てようプロジェクトの場所を見て自分たちが育てた植物を植える場所を確認する。

プログラムの
ねらい

- ・学校の近くに素晴らしい自然が残っている、自然観察会を通じて自然の大切さを実感できたら素晴らしいです。
- ・子供たちが進んで荒川の植物を育てるプロジェクトに参加できれば良いです。
- ・外来植物が身近にあることを理解していただければ良いです。

プログラムの内容

1 三つ又沼ビオトープの解説(20分)

- ・オリエンテーションとビオトープのお話

2 自然解説(60分)

- ・緑の回廊で五感を使って鳥の声を聞く
- ・絶滅危惧種のゴマギの解説、葉がゴマの香り
- ・絶滅危惧種のノウルシや三つ又沼の解説
- ・絶滅危惧種の沼に住んでいるドブガイを持って見る
- ・埼玉県のチョウ、ミドリシジミの解説
- ・湿地に住んでいるヒバカリの生体を触って見る

3 外来草本抜き(30分)

- ・ショカツサイ、菜の花、セリバヒエンソウなどの抜き取り、(休憩時間を含む)

4 質疑応答(10分)



受講者の反応

- ・川島町にもきれいな自然が残っているのが印象的でしたの声が多かった。
- ・子供たちは植物より、生き物が大好きであり、ヘビのヒバカリでは最初は尻込みしていたが全員で触って感触を確かめていました、沼のドブガイの大きさ(20cm)にはビックリでした。
- ・初体験の外来草本抜きでは競争で抜いていました、時間ですよと言うと、もう時間ですかの声が多く出ていました、汗をかいての作業でした、この中で一人でもいいからボランティアが育つといいですが、楽しみです……。

環境学習の様子（写真）



草花を植える場所の見学



外来植物（ショカツサイ他）抜きの体験

分野：自然への愛着

(春の自然観察と昆虫観察)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象 つばさ北小学校 3年(21人)

所要時間  2時間

場所 荒川太郎右衛門自然再生地・中池

実施時期 令和3年5月12日

概要

- ・今年度初めての校外学習です。初夏の自然観察と体験活動①として昆虫採集を行い、捕獲した昆虫の解説を行う。
- ・体験活動②として自然を守る体験、外来種(セイタカアワダチソウ)を見つけて抜きとる作業

プログラムの
ねらい

- ・学校の近くに荒川太郎右衛門自然再生地、素晴らしい自然豊かな場所を知ってもらい、自然観察や昆虫採集を通じて自然の大切さを学習する。
- ・外来種が身近にあること、在来種を守ることを理解できれば素晴らしいです。
- ・子供たちが進んでボランティア活動に参加する足掛けになればいいです。

プログラムの内容

1 体験活動 ①(50分)

自然観察、虫取り網を使って昆虫採集と解説
水飲み休憩含む

2 体験活動 ②(50分)

外来種の分け方、セイタカアワダチソウ
外来種をなぜ抜くのか解説
セイタカアワダチソウは根を抜かないといけない植物です。
他の外来種の解説オオブタクサ・セリバヒエンソウ
水のみ休憩含む
昨年移植した植物の観察(写真)



3 まとめ(20分)

受講者の反応

- ・川島町にも荒川太郎右衛門自然再生地のような自然があることが理解された。
- ・昆虫採集では競争で昆虫を捕獲強いました。昆虫少年多い。
- ・外来草本抜きは汗だくなって作業していました。
- ・事前に捕獲していたヒバカリを全員で触り感触を楽しんでいたのが印象的でした。ヘビが好きなんですね、生体観察が一番盛り上がります。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



昆虫採集・昆虫解説



外来種の抜き取り・セイタカアワダチソウ

分野：自然への愛着

(ビオトープ池の水抜き・干し上げ体験)

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象 上尾市立大石北小学校 (35人)

所要時間  3時間30分

場所 大石北小学校ビオトープ

実施時期 令和3年6月26日

概要

- 学校ビオトープの池が桑の実などで悪臭がする、3年間も水抜きしておらず、生き物が可哀そうでしたので、水抜きし3年分の土砂の除去を行います。
- 水抜きしながら魚や、水生昆虫を観察します、池の周囲にある水生植物なども大切なので保護していきます。

プログラムの
ねらい

- 3年間も池の水の管理をしないとどうなるか、子供たち自ら長靴や胴長を着て水抜きをやりながら、魚、水生昆虫を捕獲し仮置き、溜まって悪臭のする土砂を搬出する大変さを感じていただく、泥まみれ体験で大切さを実感する。
- 普段見られない魚・貝類・水生昆虫・水生植物を観察できる。

プログラムの内容

1 オリエンテーション (20分)

- 先生方・環境委員会・親父の会・PTA の紹介
- 今日の作業の流れを説明 途中で生き物観察を行う
- 3時間を超える作業なので、途中で帰る子供は誰かに連絡して帰ることを約束 水分補給を忘れない

2 池の水抜き・干し上げメンテ作業 (3時間)

- 水抜き作業をやりながらの生き物捕獲作業
- 休憩しながら、生き物観察、魚・貝・水生昆虫他
モツゴ、メダカ、ギンブナ、ドブガイ、タニシ
モノアラガイ、シオカラヤゴ、ヤブヤンマヤゴ
植物はアサザ、コウホネ、ショウブ、ハンノキなど



受講者の反応

- 初めて池の干し上げ作業でした。最初は汚れるのを気にしていましたが、汚れた池から魚やヤゴが見つかるのと男女関係なく、泥水と格闘し捕獲していました。
- 土砂搬出は大変でしたが親父の会の人に手伝っていただき、汗だくになって土砂のかき出しをやっていました。帰れば親に泥だらけで怒られるような姿でしたが大満足のような姿でした。
- 池の中には魚やトンボのヤゴが多いのには驚きでした。ショウブの葉の匂いにも驚いていました。ドブガイの大きさに持ってビックリしてました。



池の土砂搬出は完了し一休み



池に生き物のため、水のポンプUP

分野：自然への愛着

(夏休み前の動植物観察)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象 上尾市立上平小学校 他2校(25人)

所要時間



2時間

場所 三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和3年7月17日

概要

- ・三つ又沼ビオトープ、荒川の草花を育てようプロジェクトに参加している3校環境委員会活動を行っている、5、6年生と家族が参加し学校の交流を兼ねる。
- ・環境委員会で育てた荒川の植物がどんな場所で、どのように育っているか確認。
- ・家族と三つ又沼ビオトープの動植物観察

プログラムの
ねらい

- ・3校合同の子供たちと家族の自然観察交流会
- ・荒川の草花を育てようプロジェクトで自分たちが育てた草花が、自然と共生しているか見ていただく。他にどんな動植物がいるか、お楽しみです。
- ・自分たちの委員会活動を家族の人と楽しんでいただくことが出来ればいいな。

プログラムの内容

1 オリエンテーション(30分)

- ・3校の紹介 委員会活動の紹介
- ・これからの観察工程の説明 移植地・緑の回廊・池周辺・ハンノキ移植地
- ・危険動物の注意事項 ヘビ・ハチ・ムシなど
- ・熱中症対策、水筒の水飲みタイムを作ります

2 動植物の観察 夏休みの自由研究の題材を探そう

- ・荒川の草花を移植し育てている場所の観察を行う
植物の解説 絶滅危惧種 花や種についても
- ・哺乳類の足跡探し、フィールドサイン
タヌキ・イタチ・イノシシ・シカ・アライグマ
- ・沼の生き物探し
トンボ類、外来のカメ、絶滅危惧種のドブガイ

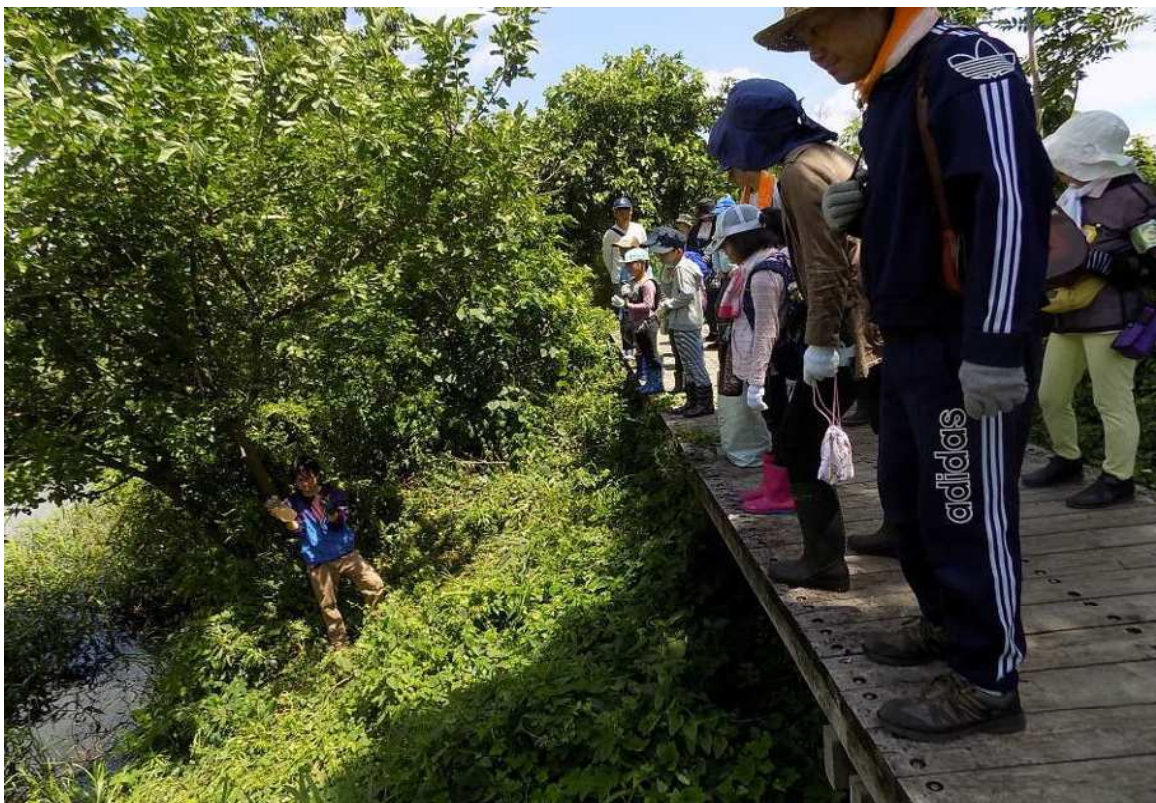


受講者の反応

- ・本来なら4校合同の交流会を行い、観察会を行う予定でしたが、まだコロナ禍のなかでしたが、子供たちは学校から離れて他校と仲良くなり、親たちも動植物の観察を通じて交流を深めていた印象がありました。
- ・子供たちは植物より、生きた昆虫や沼のドブガイの重いにはビックリしていましたが、究極な生き物、ヘビのヒバカリを見つけ全員で観察することができ大満足でした、子供たちから秋に4校交流観察会ができたらの声が多くありました。



荒川の草花移植地とハンノキ観察



分野：自然への愛着

(親子自然塾・初秋の昆虫)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象 荒川の自然を守る教職員の会（38人）

所要時間



2時間

場所 三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和3年9月26日

概要

- ・会員とその家族や一般の方は上尾市報で応募しました
- ・三つ又沼ビオトープの自然を楽しんでいただく
- ・初秋に見られる動植物の観察、主は昆虫のチョウ、トンボ、甲虫類など
- ・TV東京、昆虫チャンピオンを招き持参した標本の解説を行っていただいた

プログラムの ねらい

- ・上尾市、川越市、川島町が隣接する三つ又沼ビオトープには旧荒川の自然が残り、希少な動植物の宝庫であることを親子で学習する
- ・上尾市に住む日本の昆虫チャンピオンから、荒川の昆虫標本を持参していただき、昆虫の話をし、昆虫が好きになっていただけたらいいです

プログラムの内容

1 オリエンテーション（10分）

- ・昆虫チャンピオンの紹介
- ・新型コロナ対策、危険生物の注意

2 長畑昆虫チャンピオンの標本解説（20分）

- ・荒川周辺の昆虫標本を見ながら楽しく解説

3 初秋の親子で昆虫探し（40分）

コース 駐車場～上流に向かう～緑の回廊
～三つ又沼周辺

4 捕獲した昆虫の解説（30分）

各地点で捕獲した昆虫の子供向け解説 23種

5 昆虫何でも質問タイム（20分）

8家族の子供からの素朴な質問に解説



受講者の反応

- ・日本の昆虫チャンピオンが昆虫を好きになった話や、持参した標本を見ながら、目の前で解説していただき、親子で興奮していました。次回は昆虫探しもやっていただきたいようでした。
- ・三つ又沼ビオトープでは多くの昆虫が見られるので楽しかった。10月は晩秋昆虫の親子観察会があるようなので参加したい声が多かったです。
- ・環境アドバイザーが子供向けに楽しく解説してくれたので、昆虫が好きになった、声あり。

分野：自然への愛着

(親子自然塾・秋の昆虫観察)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象 荒川の自然を守る教職員の会（40人）

所要時間



2時間

場所 三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和3年10月24日

概要

- ・会員とその家族や一般の方は上尾市報で応募しました
- ・三つ又沼ビオトープの自然を楽しんでいただく
- ・秋に見られる動植物の観察、主は昆虫のチョウ、トンボ、甲虫類など
- ・植物や昆虫類の観察は最後なので、トンバス広場で反省会と焼き芋大会

プログラムの
ねらい

- ・上尾市、川越市、川島町が隣接する三つ又沼ビオトープには、旧荒川の自然が残り、希少な動植物の宝庫であることを親子で学習する
- ・初参加の家族のために、日本の昆虫チャンピオンから、荒川の昆虫標本を持参していただき、昆虫の解説。昆虫が好きになっていただけたらいいです

プログラムの内容

1 オリエンテーション（10分）

- ・会長挨拶、スタッフ紹介
- ・新型コロナ対策、危険生物の注意

2 長畑昆虫チャンピオンの標本解説（10分）

- ・荒川周辺の昆虫標本を見ながら楽しく解説
- ・昆虫の質問、昆虫の捕獲方法解説

3 秋の親子で昆虫探し（40分）

コース 駐車場～緑の回廊～三つ又沼周辺

4 捕獲した昆虫の解説・質問（20分）

各地点で捕獲した昆虫他の子供向け解説 20種

5 反省会・焼き芋タイム（40分）

参加者全員で焼き芋を食べながらの反省会



受講者の反応

- ・昆虫チャンピオンが昆虫を好きになった話や、持参した標本を見ながら、目の前で解説していただき、親子で興奮していました、今回は昆虫王と昆虫探しができ大満足でした。
- ・三つ又沼ビオトープでは多くの昆虫が見られるので楽しかった、昆虫の探し方や持ち方など教えていただき、家族みんなが昆虫博士になりました。
- ・昆虫王と環境アドバイザーの2枚看板で、子供向けに楽しく解説してくれたので、昆虫が大好きになった家族も見られました。

分野：自然への愛着

(生活科・秋の七草と生き物のお話し)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象 上尾市立富士見小学校 2年(110人)

所要時間



1時間

場所 富士見小学校体育館3クラス合同

実施時期

令和3年10月4日

概要

- ・例年、2年生は生活科の校外学習で埼玉県自然学習センターを利用していたがコロナ過の中、利用をキャンセル、現地に行かず、環境アドバイザーに依頼する。
- ・子供たちに秋の雰囲気を楽しみ、映像とお話で学習していただく、埼玉県や上尾市に生息する動植物のお話しをわかりやすく行います。

プログラムの
ねらい

- ・秋の七草を解説し、身近に見られる花や植物と昆虫との関わり方の学習を行う。
- ・身近な昆虫の解説、埼玉県のチョウ、花、鳥、魚を覚えていただく学習を行う。
- ・子供たちには理解しにくい絶滅が心配される昆虫類、哺乳類、両生類・爬虫類、甲殻類、魚類、野鳥類を楽しく解説し生き物の大切さを学ぶ。

プログラムの内容

1 秋の七草の話(15分)

春の七草は食べ物、秋の七草は花を楽しむことや
薬草になる、秋の七草の覚え方は頭文字で、**お・す・き・な・ふ・く・は**
と覚えましょう。

2 埼玉県・上尾市の動物たちの話(30分)

昆虫類・甲殻類・チョウ類・トンボ類・ハチ類
バッタ類他

哺乳類・両生類・爬虫類・甲殻類・魚類・クモ類
野鳥類 (途中時間切れでクラスごとに映像鑑賞)

上尾市に生息する種を基本に子供たちが興味を
抱くものを主にお話する

3 質問コーナー(15分)



受講者の反応

- ・広い体育館でのお話でしたが、最初は落ち着きがありませんでした、秋の七草のフジバカマの乾燥した匂い(サクラ餅)やクズの花に隠れたチョウの幼虫などで雰囲気が盛り上がりました。
- ・一方的な解説でなく、クイズ形式や対話で生き物の不思議を理解していたようです、先生方も知らないことばかりで生きた解説を満足して聞いていました。
- ・質問タイムでは多くの質問が飛び出し、盛り上がりました、解説者として満足でした。
 - ・埼玉新聞取材対応いたしました、**環境アドバイザーをアピールしました**

分野：自然への愛着

「環境講座・上尾市の自然と希少動植物」

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象 上尾市内 小中学校 (21人)

所要時間  2時間

場所 上尾市教育委員会 教育センター

実施時期 令和3年10月12日

概要

- ・上尾市内で自然が残っている場所について紹介する
- ・埼玉県のレッドリストについての解説する
- ・昆虫標本や生体展示した生き物を手に取って観察し解説する
- ・上尾市に生息する希少種の紹介

プログラムの ねらい

- ・上尾市にもこんな動植物がいて、絶滅危惧種であることを理解していただく
- ・自然界の生き物を知り、好きになってくれたらと思います
- ・生態系、生物多様性や自然環境について学び、自然の大切さを理解してくれたら最高です。

プログラムの内容

1 希少動植物の解説 (70分) 休憩含む

- ・上尾市内で自然が残っている場所を紹介する
8か所の自然再生地・ビオトープ・トラスト地
県指定市の森・市指定景観地・その他公園
- ・上尾市に生息する希少動植物の紹介
希少植物 草本、木本類
希少野鳥類 水鳥類、猛禽類、その他野鳥
希少哺乳類 両生類 爬虫類 甲殻類 魚類
希少昆虫類 甲虫 チョウ トンボ ハチ他



2 展示した昆虫標本や生体展示の解説 (30分)

- ・昆虫標本 生体展示昆虫、魚類

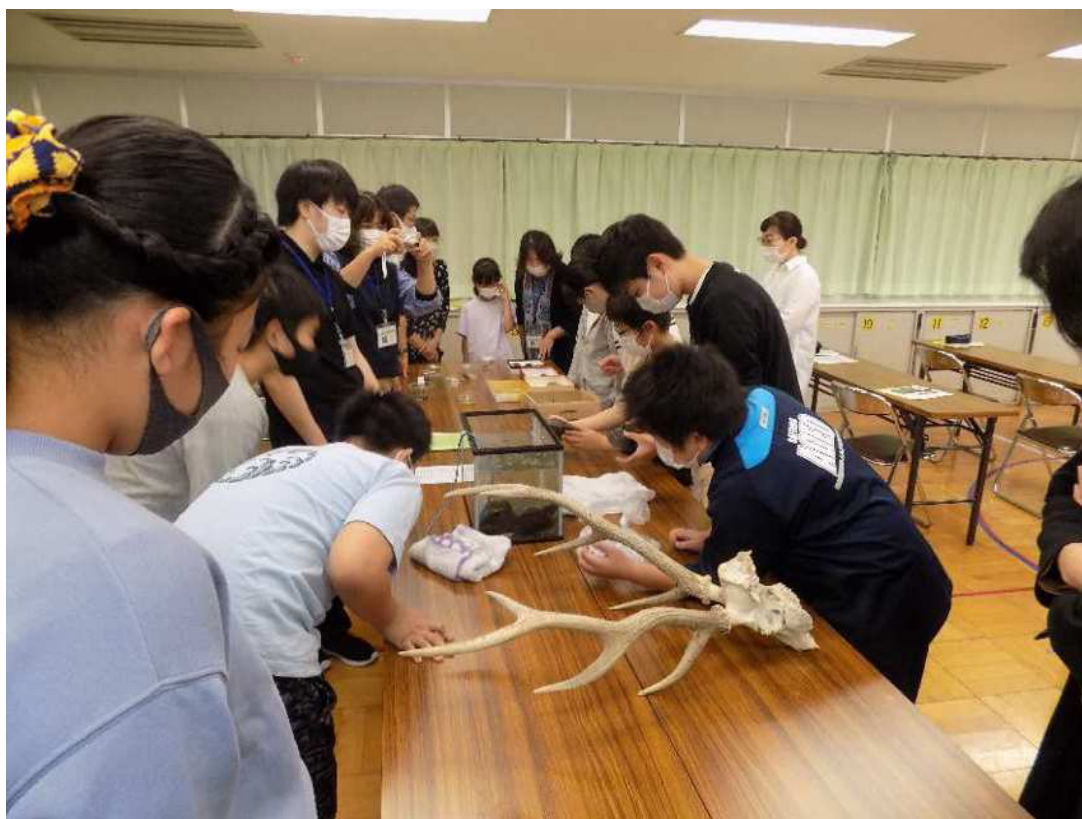
3 質問コーナー (20分)

受講者の反応

学校適用指導教室の子供たちでしたが、解説者(サブちゃん先生)の話をよく聞き理解しているようでした、小学校低学年の子供も何となく理解していたようです。

子供たちは写真での解説よりも、生態展示や標本での解説で身近に触れることが楽しいようでした、子供たちと信頼感もでき、解説に私のテンションも上がりました、重いドブ貝やシカの角が全員触れるようになり、大盛り上がりになりました、感謝の声やサブちゃん先生ありがとうの音が聞けました。 コロナ過の中三密を避けゆったり環境講座が出来ました。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要鳴りました



中間休みに生き物観察会

分野：自然への愛着

(三つ又沼ビオトープ沼の生き物調査と自然観察)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象

上尾市立富士見小学校他3校(25人)

所要時間



2時間

場所

三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和3年12月5日

概要

- ・三つ又沼ビオトープ、荒川の草花を育てようプロジェクトに参加している4校環境委員会活動を行っている、5、6年生と家族が参加し学校の交流を兼ねる。
- ・環境委員会で育てた荒川の植物がどんな場所で、育っているか家族で確認。
- ・荒川の自然を守る会と協力し沼の生き物を採取し観察します。

プログラムの ねらい

- ・4校合同の子供たちと家族の沼の生き物調査と自然観察交流会
- ・荒川の草花を育てようプロジェクトで、自分たちが育てている場所を家族に見ていただき、沼にはどんな生き物がいるか、お楽しみです。
- ・自分たちの委員会活動を家族に知っていただくことができればいいな。

プログラムの内容

1 オリエンテーション(20分)

- ・4校の紹介 委員会活動の紹介
- ・調査スタッフの紹介・今日の作業の流れ
- ・危険動物の注意事項 (スズメバチ)

2 駐車場から沼までの自然観察(20分)

- ・哺乳類の足跡探し、フィールドサイン
タヌキ・イタチ・イノシシ・シカ・アライグマ
- ・越冬昆虫探し ゴマダラチョウの幼虫
ウラギンシジミ・クビキリギス・ツチイナゴ他

3 沼の生き物調査・観察(70分)

ギンブナ・モツゴ・ツチフキ・ドブガイ・メダカ
ヨシノボリ・テナガエビ・ブルーギル 他

4 質問タイム(10分)



受講者の反応

- ・4校合同で環境委員の交流会を行いながら観察会を行った。三つ又沼プロジェクトの仲間意識も深まり、学校から離れて他校と仲良くなれた。親たちも子どもの成長が見られたようです。また動植物の観察を通じて家族間の交流を深めていました。
- ・子供たちは植物より、冬でも生きた昆虫(チョウ・バッタ)や沼の魚やドブガイの重いにはビックリしていました。
- ・次回は夏休み期間に、夏の自然観察ができれば参加したいとの要望がありました。

三つ又沼の生き物調査と観察



分野：自然への愛着

(科学部の部活でハンノキ調査)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象

上尾市立太平中学校科学部（15人）

所要時間



1時間30分

場所

三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和3年12月18日

概要

- ・2年間、種から育てた幼木を科学部の部活として、三つ又沼ビオトープで移植場所の草刈りを行い、移植します。
- ・ハンノキの種の採取、生育状況の調査観察、樹高、周囲長測定、記録する。
- ・周辺部でハンノキを食草とするミドリシジミの卵のカウントを行い観察する。

プログラムの

ねらい

- ・2年間、学校で種から苦労して育てたハンノキの幼木を三つ又沼ビオトープに数本移植します、発芽率の低い湿地の植物で、夏休みの管理が大変なこと、科学部の活動で実体験して頂いています。
- ・埼玉県のアサギ、ミドリシジミの食草を大切に育てる活動を継続的に行う。

プログラムの内容

1 オリエンテーション（10分）

- ・今日の作業の流れ、注意事項
- ・自己紹介

2 移植場所の草刈り、移植穴を掘り移植（20分）

3 沼周辺で元気に育っている種を見極めて種を採取する（20分）

4 今まで移植した、ハンノキの樹高、周囲長の測定（30分）

5 ミドリシジミ卵調査（20分）

6 反省・質問タイム（10分）



受講者の反応

- ・夏の暑さでハンノキを枯らしていた、発芽率の低い植物なので、朝晩に水やりの必要性を理解していた、2年生は納得していたが1年生はポカンとしていました。
- ・1年生は初めての校外の部活でした、スコップを使っての作業やハンノキの生育調査、ミドリシジミの卵調査、初めての体験で楽しそうでした。
- ・ハンノキ6本移植しました、早く元気になあれ、春が楽しみです。

ハンノキ樹高・ミドリシジミの卵調査・種採取と観察



分野：自然への愛着

(鴨川冬鳥観察会)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象 上尾市民・一般(25人)

所要時間



2時間

場所 大谷公民館より鴨川に向かい観察

実施時期

令和4年1月22日

概要

- ・上尾市、荒川の支流に当たる鴨川は河川改修で綺麗になり野鳥が多く見られることから上尾市環境推進協議会、環境政策課からの依頼で交通量の少ない大谷地区で野鳥の冬鳥観察会を行う。
- ・カモがメインですが川の宝石と言われるカワセミ他を観察します。

プログラムの
ねらい

- ・川が綺麗になりカモ類が増えてきました。サギ類や都市部には珍しい絶滅危惧種の野鳥、バン・オオバン・クイナや野鳥を捕獲する猛禽類オオタカやネズミを捕獲するチョウゲンボウが観察できれば良いです。
- ・野鳥の生態系を分かり易く解説する。

プログラムの内容

1 オリエンテーション(20分) コロナ過の観察会・三密に注意し観察しましょう。

新型コロナ対策 3密を徹底して野鳥観察を行いましょう

- ・野鳥の大きさの判断
小・スズメ 中・ハト 大・カラス
- ・どんな場所にいるか 生態系の解説
池か 草原か 木にとまる 藪中か・・・

2 鴨川に移動する 双眼鏡の使いかた(20分)

- ・肉眼で鳥を見つけたら目を移動しないで双眼鏡を目に持っていく訓練

3 歩きながら野鳥探しと観察(80分)

- ・**大声で話をしない、野鳥はすぐ飛んでしまう**
- ・羽根の識別を観察する
- ・鳴き声を覚える、鳴き声で野鳥の識別がわかる 経験が大事です。

写真は次ページに

受講者の反応

- ・野鳥観察は初めての方で、今回は双眼鏡を貸してもらったが、マイ双眼鏡が欲しくなった人が多くいました。どんな凶鑑が初心者に良いかなどの質問がありました。
- ・野鳥によって、飛び方も違いが判り、また鴨川に来て野鳥観察したいとのことでした。
- ・場所によっては野鳥の種類も変化があるので、野鳥観察が楽しみになりました。
- ・カワセミや猛禽類のチョウゲンボウが見られ感激していました。
- ・目標10種観察でしたが15種も見られ満足でした。

鴨川冬鳥観察会



中学生グループは野鳥観察に慣れてしています



一般グループ、野鳥の見つけ方について解説

分野：自然への愛着

しののめキッズパーク保育園の環境教育

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象

しののめキッズパーク保育園職員21名

所要時間



9時～11時

場所

三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和4年2月26日

概要

- ・冬の自然観察や管理作業
- 荒川の草花を育てようプロジェクト植栽場所の紹介
- 三つ又沼ビオトープの冬の昆虫などの観察
- ヨシ原管理、野焼き場所、ハンノキの紹介 保全管理作業

プログラムの

ねらい

- ・冬に見られる動植物の観察
- 鳥などから見つからないように擬態している生き物探し
- ・ヨシ原管理作業や野焼き後の生物多様性を学習する
- 保全管理では、希少植物の生育場所でヨシの片付け作業

プログラムの内容

1 自然観察（50分）

- ・エノキの下でゴマダラチョウの幼虫探しと解説
- ・草花プロジェクトの植物解説
- ・ハンノキ林でミドリシジミの卵探しと解説
- ・沼のドブガイ、フィールドサイン、キツネの足跡探しと解説
- ・春の花、ノウルシの芽吹き観察と解説
- ・ここで問題、県の蝶、花、鳥、魚 解説
- ・フクロウの巣箱を観察 解説

2 希少種湿地でヨシの片付け管理作業（50分）

- ・希少種、ハナムグラ、エキサイゼリの生育する場所ので刈り取ったヨシの片付け作業
- ・池のドブガイやカヤネズミの巣などの解説

3 まとめ・質疑応答（20分）



受講者の反応

- ・キッズパーク保育園は荒川の草花を育てようプロジェクト活動に参加されています、園では園児と草花を育て、秋には種を採取し、荒川上流河川事務所に種を返納し、春には三つ又沼に他団体が種を播いています、ビオトープに関心の高い保育園でした。
- ・休日でも大勢の職員の方が参加し、自然を満喫していました、春から秋の季節にも職員研修があることを望みます、自然が好きな職員の皆様でした、全員が解説にメモを取り、解説のテンションが上がりました。

環境学習の様子（写真）※



希少種湿地でヨシの片付け作業と池の観察



分野：自然への愛着

(ハンノキ移植と初春の自然観察)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象

つばさ南小学校 3年(23人)

所要時間



1・5時間

場所

三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和4年3月23日

概要

- ・ハンノキプロジェクトで種から育てたハンノキを三つ又沼ビオトープに移植する、本来なら休眠期の葉が出る前に移植するが、コロナ禍で遅れました。
- ・初春の自然観察、希少種の芽吹きを観察、ノウルシ・ハナムラ・エキサイゼリ
- ・ノコギリの使いかたを学習したので、保全管理活動で体験する(学校側の要望)

プログラムの
ねらい

- ・学校の近くに素晴らしい自然が残っている場所を実感できたら素晴らしいです。
- ・埼玉県のアサギ、ミドリシジミの食草となるハンノキを移植し大きくなった木の周りを乱舞するミドリシジミを見に来ていただきたい。
- ・保全管理の一助でハチクを切る体験活動を実践する。

プログラムの内容

1 三つ又沼ビオトープの解説(10分)

- ・オリエンテーションとビオトープのお話

2 ハンノキ移植(20分)

- ・移植する場所の草の片付け
- ・移植位置の穴掘り、移植、埋め戻し

3 初春の希少種他の自然観察(20分)

- ・木道よりノウルシの芽吹きを観察
- ・野焼きした場所に移動し、野焼きの説明を行う
エキサイゼリ・ハナムグラの観察

4 ノコギリを使った体験学習(30分)

- ・ノコギリの使いかた、竹の切り方を説明
- ・グループ分けし、一人1本切る

5 まとめ・質疑応答(10分)



受講者の反応

- ・川島町にも希少種があり、自然が残っているのが印象的でしたの声が多かった、新緑の時期や夏秋にも観察に来たいです、成虫越冬していたツチイナゴがかわいかったです。
- ・学校で自分たちが種から育てたハンノキを植えた喜び、大きくなるまで家族で時々観察できることが楽しみです、育てたハンノキの周りを飛ぶミドリシジミを早く見たいです。
- ・ノコギリを使った保全管理の体験学習、最初は怖かったが楽しく教えて頂きありがとうございましたの声が多かったです・・・怪我無く終わりました。

環境学習の様子（写真）



学校で育てたハンノキ移植作業



希少種ノウルシの芽吹き観察